

第13回 化学遺産 市民公開 講座

— 理化学機器の源流、
銅アンモニウムレーヨンなど —

2019年3月17日(日)

9:00~12:30

会 場: 甲南大学岡本キャンパス
5号館2階521教室

神戸市東灘区岡本8-9-1、日本化学会第99春季年会 S5会場

参加費: 無料 当日会場にお越しください。

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは化学技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまで9回46件をそれぞれ認定・顕彰してきました。平成30年度も同様に広く公募し、調査・検証作業をした結果、新たに4件が認定されました。今回の市民公開講座では特別講演とともに、認定された4件の化学遺産についてわかりやすく紹介します。ぜひ会場に足をお運びください。

【プログラム】

総合司会
開会挨拶

(横浜国立大名誉教授)伊藤 卓
(日本化学会化学遺産委員会委員長/京都大学名誉教授)植村 榮



ドラフトチャンバー(出窓部分)(学習院大学)

9:10-9:40

学習院とドラフトチャンバー

(学習院大学教授)秋山 隆彦



NMR測定装置(電気通信大学)

9:40-10:10

機器分析の黎明

(電気通信大学名誉教授)中川 直哉



ガスクロマトグラフGC-1A((株)島津製作所)

10:10-10:40

日本の近代化を支えてきた理化学教育と新技術への挑戦

(株式会社島津製作所 創業記念資料館 館長)山内 幹雄



ハンク式紡糸機(旭化成(株))

10:40-11:10

ハンク紡糸法による旭化成ベンベルグの歩み

(旭化成株式会社 ベンベルグ工場管理室・室長)前原 隆玄

〈10分間休憩〉



セルロイド人形((株)ダイセル)

11:20-12:10

(特別講演)「アメリカ帰りのセルロイド人形-化学遺産認定の取り結ぶ縁-」

(元株式会社ダイセル)吉兼 正能

閉会挨拶

(横浜国立大名誉教授)伊藤 卓

[お問い合わせ]

日本化学会 企画部 飛渡(ひわた)り

TEL: 03-3292-6163 Email: chemarch@chemistry.or.jp 主催: 日本化学会化学遺産委員会・化学史学会 共催: 日本化学工業協会